

(様式1) 学校評価

<評価:A(1・2) B(3) C(4・5) 数字はアンケート結果を加味する場合>

項目	重点目標 (○:市の重点目標 ◇:学校の重点目標)	キーワード	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校運営協議会委員(評価者)の 意見等
学校 評価	教育課程	カリキュラムマネジメント PDCAサイクル 社会に開かれた教育課程 教科等横断的な視点	○授業時数の確保や日課を臨機応変に運用するなど、適切に管理を行いながら教育課程を実施することができた。 ○コロナ禍であったが、運動会をはじめ多くの教育活動を工夫しながら実施することができた。 ○小規模特認校及び授業時数特例校として、さらに特色ある教育課程の編成に取り組む必要がある。	B	○総合的な学習の時間の指導計画の見直し改善を図る。 ○複式学級を考慮して学校行事の計画立案を行う。 ○異学年での交流学习を積極的に推進していく。	○コロナ禍の中、多数の行事を行いながら授業時数を確保でき感謝している。 ○先生方とPTAが協力し、運動会等イベントができてよかった。 ○教育活動アンケートの結果の傾向も踏まえての教科内容や授業時数の編成を期待する。(コミュニケーションを基にした人権教育、英語力、情報処理能力の向上につながるような編成) ○小規模校ならではの複数学年での交流学习はよいと思います。今後も工夫しながら進めていってほしい。 ○小規模特認校ならではの魅力ある特色に期待したい。 ○小規模特認校、授業時数特例校として、少数で特色ある授業または社会参加ができればと思う。 ○小規模特認校としての特徴をよりPRされるよう期待する。 ○複式学級について不安もある。
	組織運営	適材適所 研修の充実 働き方改革	○教職員の経験値や年齢、適正等を考慮しながら、一つの分掌に複数の担当者を配置した。その結果、担当者同士がいろいろと意見を出し合いながら計画立案し、よりよい教育活動を実践することができた。 ○学級数や職員数の減少を見据えた上で、次年度はより教育効果の上がる適切な人材配置に努めていく。	B	○年齢や経験を考慮して教職員の配置を行い、相互に意見交換をしながら、職員の育成や組織の活性化をさらに図っていく。 ○校務分掌組織の見直し改善を図り、協働的に業務を行うことができるようにする。 ○PTA組織や活動内容の見直し改善を図る。	○分野に特化した人員配置により効果的な活動が行え、教育効果の向上が見られた。 ○教職員の業務改善が進むことを願う。 ○PTAの減少を踏まえ、委員会など1学年で賄うことが困難となるので、役員的大幅削減や仕事量の削減を改善していただきたい。 ○PTA組織について、会員数の減少により見直しを検討する必要がある。 ○児童数減少に伴う組織の見直しは当然のことと考える。しかし前提であることは、教育であることを踏まえての教職員の配置や組織運営であることを祈念する。

運営	環境整備	<p>○校内外の整理整頓、環境整備に努める。 ◇児童が安全・安心な環境の中で生活できる学校づくりに努める。</p>	<p>施設利用 安全点検 教室配置</p>	<p>○定期的な安全点検、日常的な巡視、保護者や地域住民、児童などから得た情報などを生かしながら、学校内外の安全管理を行うことができた。危険箇所や故障等があった時には迅速に対応することができた。 ○花壇や農園の活用の仕方については、ボランティアの方々の助言をいただきながら進めていきたい。</p>	B	<p>○地域人材を有効に活用しながら、校内外の環境整備を進めていく。(除草作業、農園・学級花壇の整備、図書ボランティア等) ○農園や学級花壇の運用について見直しを図る。(配置、追肥等)</p>	<p>○他校の状況は把握しておりませんが、本校での取組並びに地域が協力した連携体制はとても素晴らしい。 ○地域の方と保護者の連携がとれていた。 ○子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるよう対応していただきたいと思えます。 ○児童数が少ない中で、地域人材の活用はますます必要になると思う。保護者以外の人材活用をさらに進めていただきたい。 ○地域状況の把握や下校時の見守りなど、安心した環境作りをしていただいています。 ○地域と学校の協働を深め、今後も地域人材の確保に努めていく必要があると考える。</p>
	地域連携	<p>○地域連携教員を要として、地域とともにある学校づくりに努める。 ◇家庭・地域・関係諸機関と連携を図る。</p>	<p>地域とともにある学校 コミュニティ・スクール 地域コーディネーター</p>	<p>○地域コーディネーターを中心として学校ボランティアを依頼し、絵画教室や読み聞かせを実施することができた。ボランティアの方々が学校を理解していただく機会にもなった。 ○学校だよりや学年だより、学校ホームページ等により、学校の情報を発信し、保護者や地域の方からの理解を深めてもらうことができた。</p>	A	<p>○学校運営協議会の委員と意見交換をしながら、今後もよりよい教育活動が実践できるようにしていく。 ○保護者が参加する活動については、PTA役員の意見等を参考にしながら、教育活動の計画立案を行い、実施していく。</p>	<p>○地域とともにある学校づくりができていると感じる。子どもたちも地域に興味をもつきっかけになると思う。 ○地域の方々と交流を図ることにより、学習以外での子どもたちの公衆道徳を育むことができ、家庭でのコミュニケーションのきっかけとなった。 ○地域学校協働本部活動の一環として「境の日」が行われることから、引き続きそういった機会を契機に、地域連携を強化していく必要が考あると考える。 ○学校だよりが各自治会に回り、地域の方に境小の活動が理解されてよかった。 ○PTAでも協力できるところはしていきたい。 ○より効率的、効果的な連携を図っていきたい。</p>

知の教育	各教科等・学習指導	<p>○学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に努める。</p> <p>◇学び合う授業づくりを通じた言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成を図る。</p>	主体的・対話的・深い学び	<p>○学習指導主任や学力向上推進リーダーを中心として研修の機会を多くもち、教師の授業力の向上に努めた。</p> <p>○言語活動の充実、コミュニケーション能力の育成については、今後も継続して取り組んでいく必要がある。</p> <p>○自主学習については、学習量や内容に学年差や個人差が見られた。</p>	B	<p>○学力調査等の結果等を踏まえ、学力向上改善プランを作成し、本校児童の実態に応じた学習指導の在り方を検討する。</p> <p>○授業や特別活動等で、児童が発表する機会を多く設定する。</p> <p>○自主学習については、学年や個に応じて進め方(めあてのめたせ方、振り返り)を指導し、継続的に取り組めるようにしていく。</p>	<p>○自主学習が継続してできてよかった。</p> <p>○少数での授業により、発表する機会が増え、自主的な発言ができるように進歩していると思います。</p> <p>○家庭学習には、保護者も関心をもって関わりたい。</p> <p>○自分の考えや意見を安心して話すことができるようになってほしいと思う。</p> <p>○自ら学ぶ児童の育成のため、引き続き自主学習の進め方を指導くださるようお願いいたします。</p>
	情報教育	<p>○一人一台の情報端末の有効活用に努める。</p> <p>◇ルールやマナーを守りながら、情報収集や伝達手段として、情報端末を計画的に活用する。</p>	プログラミング教育 情報活用能力	<p>○情報端末(学びPC)の活用について、情報主任を中心に研修の機会をもち、授業を中心に多くの場面で有効活用することができた。</p> <p>○情報端末の使い方や情報モラル等について、発達段階に応じた指導計画をより整備していく必要がある。</p>	B	<p>○情報主任を中心として、研修のさらなる充実を図り、教職員のタブレット活用能力の向上に努める。</p> <p>○情報モラル指導計画の見直し改善を図るとともに、外部機関を活用した情報教育学習の実施を行う。</p>	<p>○学びPCを使って調べたり、今のうちに活用ができるようになったりして、学習することができるのでよかった。</p> <p>○これからも学びPCの活用をお願いしたい。</p> <p>○情報端末の正しい使い方を学ぶことができている。今後のためにもプログラミング学習の強化が必要だと思っています。</p> <p>○情報端末の使い方は、今後の社会生活の中で欠かせないものになっており、使いこなせるように指導をお願いします。</p> <p>一方で情報モラルも重要ですので併せてお願いします。</p> <p>○更なる学びPCの活用について充実を図っていただくよう取組をお願いします。</p>
	国際理解教育	<p>○英語に触れ、世界を学ぶことで、豊かなコミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>◇外国語科、英語コミュニケーション科、外国語活動の充実を図る。</p>	SDG's 異文化理解 英語コミュニケーション	<p>○授業時数特例校として、英語学習の時間を増やし、授業内容の工夫改善に努めた。</p>	B	<p>○よりよい英語学習の実施に向け、担任と連携を図りながら年間指導計画の見直し改善を図る。</p> <p>○日常活動の中に英語活動をより積極的に取り入れるようにしていく。</p>	<p>○英語に慣れるために多くの時間をとっているのよい。</p> <p>○授業参観で英語を見たが、とてもよかったので、これからも続けてもらえたらと思う。</p> <p>○積極的に英語で発言できるような指導を願いたい。</p> <p>○英語学習を強化しているとのことですので、英検を一つの目標として資格取得ができれば、小規模特認校の実績につながると思う。</p> <p>○小規模の特色を活かし、英語教育に突出した取組を願いたい。</p>

心の教育

<p>児童・生徒指導</p>	<p>○自己指導能力の育成を図り、課題を解決できる児童生徒の育成に努める。 ◇規範意識の高揚と豊かな心の育成に努める。</p>	<p>いじめ 不登校 自己指導能力 キャリア教育</p>	<p>○職員会議やケース会議等で共通理解を図りながら児童指導を行うことで、児童が決まりを守って生活することができた。 ○児童の日常生活の観察や心のアンケートを通して、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見と解決を図ることができた。 ○児童のあいさつは、今後も継続的に指導する必要がある。</p>	<p>B</p>	<p>○教職員による励行や、児童会活動を中心としたあいさつ運動等を実施する。</p>	<p>○個人の情報共有によって職員の連携が図られていると感じる。 ○児童のあいさつは、消極的に感じられるので、要指導だと思う。 ○家庭でも教えるが、今後もあいさつの指導をお願いしたい。 ○あいさつでのコミュニケーションを通して、問題変化等を把握することができる。観察やアンケートは大切なので、これからもよろしくをお願いしたい。 ○ABC/R運動の再啓発について取組をお願いしたい。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>○共生社会に向け、自分の意見を持ち、他者の意見を認め合う雰囲気づくりに努める。 ◇特別な教育的支援の必要な児童への指導の工夫を図る。</p>	<p>インクルーシブ ユニバーサルデザイン 合理的配慮 自立活動</p>	<p>○特別支援教育コーディネーターを中心として、個別の支援計画を作成し、共通理解を深め、指導体制を整えることができた。 ○保護者と密に連絡をとり、理解を得ながら、個に応じた支援体制を確立することができた。</p>	<p>A</p>	<p>○すこやか推進室やスクールカウンセラー、作新学院大学教授(巡回訪問)等、関係諸機関との連携をより深めながら、児童一人一人に応じた指導ができるようにする。 ○校内研修やケース会議等で、職員間の情報共有を確実にを行うとともに、指導方針等を検討していく。</p>	<p>○児童一人一人に目くばりを感じられ、いい環境だと感じる。 ○フォロー体制の充実強化も不可欠と考える。教育、医療、保健、福祉の連携は今後特に重要ななると思う。 ○今後、ますます重要となる分野であると考え。一人一人の特性に応じた指導に配慮願いたい。</p>

命の教育	健康教育	<p>○自分の健康を管理し、健やかに生活する児童生徒の育成に努める。 ◇感染や感染拡大防止のために、日常の感染症対策の徹底を図る。</p>	保健教育 保健管理	<p>○新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら教育活動を行ったことで、児童や教職員の健康管理に対する意識や実践力が向上した。</p>	B	<p>○国や県、市などからの正確な情報を収集し、それに基づいた感染拡大防止対策を今後も徹底していく。</p> <p>○コロナ対策は大変だと思うが、しっかりできていてよかった。 ○校内の消毒など、よい衛生環境をつくっていらっている。 ○大変なこともあると思いますが、これからも感染症対策をお願いしたい。 ○これまでも徹底した対策ありがとうございました。「5類」への方針も示されたが、国の動向に注意し、適切に判断をお願いしたい。 ○健康教育も教育課程と連動させるとよい。</p>
	安全教育	<p>○危機意識を高め、安全な生活について判断・実践できる児童生徒の育成に努める。 ◇危険を予知し、自ら自分の身を守るための安全教育の推進を図る。</p>	危機管理 生活・交通・災害安全	<p>○本年度は、烏山中学校区で共通理解を図りながら同日に引渡訓練を実施した。非常時の対応について、共通理解することができ、安全管理に対する意識をより深めることができた。 ○様々な場面を想定した避難訓練を実施することが今後も必要である。</p>	B	<p>○引渡訓練については、車の誘導の仕方や引渡の確認方法など、より確実に効果的な実施方法を検討し実施する。 ○二次災害まで想定した総合的な避難訓練を実施する。</p> <p>○引渡訓練など子どもたちに経験させることはよかった。 ○訓練は今後も必要だと思うので、引き続きお願いしたい。 ○自然災害や人的災害など、あらゆる場面に応じた危機管理を身に付けることができている。 ○日頃の訓練が重要であると考えます。児童の意識の向上について引き続き指導をお願いする。 ○積極的な取組に感謝する。防災教育も関係機関と連携して取り組んでほしいと考える。</p>
	食に関する指導	<p>○食への関心を高め、健康維持に励む児童生徒の育成に努める。 ◇望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら健康管理できる能力の育成に努める。</p>	給食管理 アレルギー	<p>○食アレルギー対応について、関係機関や保護者との連携を図りながら確認し、安全な給食指導を行うことができた。 ○コロナ禍での食事マナーを意識させ、衛生的な給食活動を行うことができた。また、給食センターと連携しながら食指導を行うことで、児童の食への関心を高めることができた。</p>	B	<p>○食アレルギー対応について、校内研修等で定期的に職員間で情報共有する機会をもち、複数の教職員で安全な給食となるよう、食事中に確認していく。</p> <p>○個人のアレルギーを共有していただき、安心した給食である。食育についても、栄養の必要性など、保健だよりで勉強になる。 ○アレルギー対応としてアンケートなど記入したので、学校と家庭の連携がとれたのでよかった。 ○命の教育は重要である。児童自らが身の安全を図れるように、また一方で保護者との連携の上で、災害からいち早く避難できるように日頃からの訓練を今後とも続けてほしい。 ○給食だよりにレシピの掲載があったのがよいと思った。 ○安全な給食の提供について感謝申し上げます。引き続き対応についてお願いする。 ○食と健康の関連性について、教育課程とも連動させるとよいと思う。</p>